

犯罪のない安全・安心まちづくり情報誌

Vol.

2

平成17年7月発行

くらし 安全通信

神奈川県 安全防災局
安全・安心まちづくり推進課
電話 045(210)1111
(内線3515・3516)
FAX 045(210)8953
E-mail: anzenansin@pref.kanagawa.jp



毎月10日は
「防犯の日」

みんなで作ろう安心の街

しばらくきんときたい

暫金時隊



南足柄市

郷土のヒーロー金太郎（金時）が南足柄を守る！

事故給付金・補助制度

自主防犯活動中の事故給付金制度

防犯活動に取り組むボランティアの方々が、安心して活動を行えるよう、その活動中に事故により負傷された場合などに給付金を支給します。（事前に団体登録をする必要があります。）

区 分		金 額
事故により死亡した場合		50万円
事故により負傷した場合	全治1ヶ月以上の負傷	10万円
	全治2週間以上の負傷	1万5千円

【詳しくは、安全・安心まちづくり推進課
調整班 045-210-3507まで】

登録は随時受け付けています。なお、登録いただいた団体には、防犯情報やイベント情報を提供します。

自主防犯活動団体支援補助制度

県民または事業者で自主的に組織する団体が、継続的かつ計画的に、地域の防犯性向上のための活動を開始しようとする際に、その立ち上げに必要な物品購入費を補助する制度です。

申 請 期 限				補助限度額
第1回	7月29日	第3回	11月30日	8万円
第2回	9月30日			

【詳しくは、安全・安心まちづくり推進課
防犯対策推進班 045-210-3515まで】

募集・お知らせ

標語・シンボルマークの募集

標 語

応募方法 10～20文字程度で作成

作品内容 「犯罪防止・防犯意識向上」を呼びかけるもの

副賞

最優秀賞作品 1点 5千円（図書券）

優秀賞作品 6点 3千円（図書券）

（小学生部門、中学生部門、高校・一般部門各2点）

シンボルマーク

応募方法 画材は、色鉛筆、クレヨン、ポスターカラ 等自由
（貼り絵等は不可）

作品内容 親しみやすく、防犯を呼びかけるものだと分かるもの

副賞

最優秀賞作品 1点 1万円（図書券）

優秀賞作品 3点 5千円（図書券）

（小学生部門、中学生部門、高校・一般部門各1点）

最優秀賞作品は、安全・安心まちづくり事業の広報資料等に広く活用していきます。

共通事項

応募方法 ・ A4判用紙を使用

・裏面に郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、職業または学校名及び学年、電話番号を明記のうえ、安全・安心まちづくり推進課に持参または郵送してください。

応募資格 ・ 神奈川県内に在住、在学または、在勤されている方

応募条件 1人1点 未発表のオリジナル作品 入賞作品の使用する権利は神奈川県に帰属します。

（作品は、原則として返還しません。）

応募期間 平成17年7月1日～平成17年8月31日（当日消印有効）

その他 「標語」と「シンボルマーク」の両方に応募することも可能です。

応募された「シンボルマーク」はカラーだけでなく白黒で使用する場合も考慮して審査されます。

表彰

平成17年10月16日（日）に開催する「犯罪のない安全・安心まちづくりかながわフェスティバル（シンポジウム）」（仮称）で表彰式を予定しています。

防犯活動リーダー養成講座

日 時 / 全体会10月20日（木）13時15分～16時45分 地域別10月下旬～12月下旬で各3回

場 所 / 全体会 関内ホール（小ホール） 地域別 横浜、横須賀・三浦、県央、湘南の各地域
は地域を選択

内 容 / 防犯パトロールの効果的方法、防犯ボランティア組織の立ち上げ、運営方法などの考え方やコツが身につく内容です。

定 員 / 100名程度（応募多数の場合は抽選）

費 用 / 無料（交通費等は自己負担）

申込み / 任意の用紙に住所、氏名、電話番号、ご希望の地域をご記入の上、平成17年8月31日（水）<必着>までにお申し込みください。

【申込み、問い合わせ先】

〒231-8588横浜市中区日本大通1 神奈川県安全防災局 安全・安心まちづくり推進課 防犯対策推進班
電話045-210-3515 FAX 045-210-8953 E-mail anzenansin@pref.kanagawa.jp

ワンちゃん

が地域にとって欠かせない存在に

横須賀市「湘南鷹取ワンワンパトロール隊」

「最初は、ワンパト隊の腕章を着けるのが恥ずかしくてしょうがなかったんですよ。」とオーナーの一人が語る。

平成16年7月27日に結成された「湘南鷹取ワンワンパトロール隊」には、現在100頭あまりの「ワンちゃん=隊員」が登録されている。

飼い主とワンちゃんが散歩を兼ねて防犯パトロールをする「ワンパト」の主役は、ワンちゃんである。「ワンちゃんがいなければ、散歩しようなんて気にはならないからね。」と別のオーナー。



結成後、隊員のオーナーに、散歩コースなどについてアンケートが実施された。

その結果、意外なことが分かった。散歩コースを地図に落としていくと、なんと、ほぼ湘南鷹取地区全域が網羅されていたのだ。しかも、隊員の散歩回数は、一日平均

2回。時間帯は、午前5時から深夜12時ごろにまで及んでいた。「腕章を着けているオーナー同士で、あいさつをするようになったり、小学生があいさつをしてくれたりして、住民同士の連帯感のようなものが生まれてきつつあります。だから、今では、このワンパト活動をととても誇りに思っているんです。もっと目立つ大きな腕章がほしいと思っています。」とオーナーの一人が力強く語る。ワンちゃんが地域の安全を見守り、住民同士の連帯感を高めている。ここでは、ワンちゃんが地域にとって欠かせない存在となっているようだ。



湘南鷹取では、湘南鷹取防犯対策委員会（地域8自治会約3,000世帯の住民で構成される防犯団体）が、ワンパトのほかに、毎月約100名で防犯パトロールを行ったり、毎月防犯対策懇談会を行ったりしている。その結果、同地域の空き巣などの犯罪件数は激減している。

（右写真は、湘南鷹取防犯対策委員会の皆さん。
左から、高田静一さん、伊藤賢さん、金野泰直さん。）



湘南鷹取地区の空き巣発生件数

年月	H16.1~7 (ワンパト隊結成まで)	H16.8~12	H17.1~5
件数	9	2	0

防犯ワンポイントアドバイス（ひったくり編）

明るく、人通りの多いところを通りましょう。
バッグ等は、車道と反対側に持つか、体の前に抱えて持ちましょう。
防犯ブザーを携行しましょう。（バッグ等が身体から離れると、ブザーが鳴るように取り付けます。）
自転車の前かごには、防犯ネットを付けましょう。



大雄山駅前暫金時ボランティア隊

「暫金時隊」
いざ出陣!

警察庁の「地域安全安心ステーション」 モデル事業¹ 全国百選に選定!

ドロボウが犯行をあきらめた理由の第1位は「近所の人に見られたり、声を掛けられたりした」ことです。つまり、ドロボウは「人の目」「地域の目」を嫌い、人間関係の希薄なまちを狙うといわれています。



そこで南足柄市では、犯罪の起きにくいまちを目指して、市内全域にわたって声掛け・あいさつ運動を実施したり、児童の下校時間に合わせた見守り活動や防犯パトロールを展開しています。

名付けて、「暫金時大作戦」!「暫(しばらく)」とは歌舞伎十八番のひとつで、悪人が善良な人々に悪行を働こうとするときに、超人的な強さを持つ主人公が「しばらく」と声を掛けて登場し、悪を懲らしめ、善人を助ける物語。「暫金時」はこれを題材とした金太郎人形のことで、「暫金時大作戦」は市民一人ひとりが郷土のヒーロー「暫金時」になって、市内から悪人を一掃し、子どもから高齢者まで安心して暮らせる南足柄市を目指そうというものです。

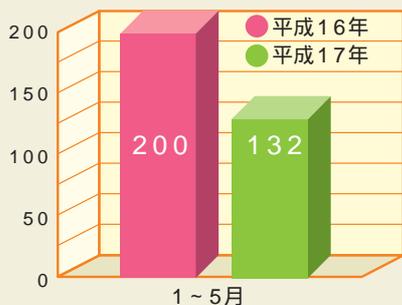


現在、市内には5つの「暫金時隊」が活動しています。

- ・第1部隊「いずみ自治会暫金時パトロール隊」
(7月12日現在21名)
- ・第2部隊「暫金時ながらパトロール隊」
(7月12日現在252名)
- ・第3部隊「大雄山駅前暫金時ボランティア隊」
(7月12日現在62名)
- ・第4部隊「和田河原駅前暫金時ボランティア隊」
(7月12日現在37名)
- ・第5部隊「岩原暫金時隊」
(7月12日現在31名)

南足柄市内の犯罪発生状況

(グラフ: H16.1~5月とH.17.1~5月の比較)



H17.1~5月までに南足柄市内で発生した犯罪総数は132件で、H16の同時期(200件)と比べると68件も減少しています。率としては34%減少したことになり、県内全域(減少率25.8%)と比較しても高い減少率を示しています。

¹
「地域安全安心ステーション」モデル事業とは、防犯活動の拠点として活用可能な建物又は施設を有し、自主的な防犯活動を行っている地区を警察庁が「モデル事業実施地区」に指定し、地域住民等による自主防犯活動に対する支援を行うものです。
県内では、暫金時ボランティア隊のほか、長者町・福富町等地域環境浄化特別対策推進委員会、日野南「みちの会」が選定されています。

地域活動情報